



2020 年 栽培日記

JA 滋賀蒲生町



Vol. 6 刈取り 搬入編

〔撮影期間：2020 年 9 月 23 日～10 月 6 日〕稲穂の色も黄金色になり、待ちに待った収穫の時期となりました。今年は猛暑日が続いたり、雨降りの日が続いたり、10 月初めは台風が来たりと目まぐるしく天候が変わる大変な年となりましたが、生産者さんは天候を見ながら計画的に刈取りを進めています。刈取られた日本晴は、次々とカントリーに運ばれています。

9 月いっぱい、コンバインで忙しそうに刈取り作業をする生産者さんの姿が蒲生地域のあちらこちらで見られました。10 月に入るとほとんどの地域が刈取りを終えようとしています。

収穫された籾は、900kg 入る**フレキシブル・コンテナ**（フレコン）に詰められ、カントリーエレベーターへ搬入されます。搬入された籾は、トラックスケールで計量後カントリー内に流し込まれ、乾燥機へと送られます。乾燥作業は、職員が 24 時間体制で交代し、均一に乾燥されるように調整しながら行います。乾燥後は、貯蔵され出荷前に籾すりして出荷されます。

フレコン搬入の様子



蒲生地区にある各小学校では、食農教育の一環として、毎年春に田植えをして秋に稲刈りをします。今年は新型コロナウイルスの感染対策により田植え体験はなくなりましたが、稲刈り体験は晴天の下行うことができました。各地域の生産者の方や職員が協力し、小学生に教えながら鎌で 1 株ずつ刈取っていきます。子どもたちからは「もっとやりたい!」と稲刈りを楽しむ声をたくさん聞くことができました。

普段農業に接する機会が少ない子どもたちに、この稲刈り体験などの田んぼの学習を通じて、食や農業の大切さ、楽しさを知ってもらえたらと思います。

小学校稲刈り体験の様子



コンバインで刈取り作業の様子